

新春恒例 駅伝競争大会 開催



新春の1月17日(日)、恒例の駅伝競走大会が大月市及び上野原市で開催されました。朝晩の冷え込みの厳しい時期ですが、日中は穏やかな日差しに包まれ、絶好の駅伝日和となりました。大月市駅伝は46回、上野原市駅伝は5回(市誕生から)を数え、一般、中学、地元体育会(体協)等が参加する地域に根付いた伝統のある大会です。今年も両駅伝とも88チームが出場し、健脚を競いました。両市とも号砲は10時30分、選手たちは沿道で応援する市民の声援を受け、市内の起伏あるコースに挑みました。大月駅伝の一般男子、一般女子には明日の風ACも参加し、たすきをつなぎました。

谷村工業高校 教育実践公開発表会 開催



1月25日(月)、うぐいすホールで谷村工業高校(数野均校長)教育実践公開発表会が産業界、教育界、学校評議委員等30名余りの来賓を迎えて行われました。校長先生より“積み重ねる重要性を感じ取ってほしい”とのあいさつで始まり、まず1・2年生の教育実践発表が行われました。学校生活を充実させた取り組みとして、インターンシップの実践と修学旅行の取り組みが紹介されました。後半は、4学科5コースの3年生による専門的で特色のある研究や製作が、計画から実践までの経過を含めて紹介されました。テーマは「組み込みコンピューティング」、「新時代のカーデザイン」、「ケナフからの和紙づくり」、「全国ソーラーカーコンテストとクラフトマン21の取り組み」、「ガーデンハウスの製作」で、それぞれが素晴らしい成果を上げていました。発表の端々に、これまでの成果をさらに後輩に受け継いでほしいとの願いも伝わり、1・2年生の態度からはそれに応えようとする意気込みが感じられました。



富士北稜高校 生徒発表会 開催



2月6日(土)、富士北稜高校(山田泰男校長)で第3回生徒発表会が行われました。これまで会場となっていた富士五湖文化センターが全面改修のため、高校を会場として行われましたが、地域の事業所、中学校・高校の教育関係者、中学生、保護者等九十名ほどがおとずれ、盛大に開催されました。発表会は体育館で行われ、系列から5本の発表(『紅稜祭』電飾看板の制作)、「月江寺ルネッサンスに向けて」、「チャレンジ2009」、「福祉分野の授業の様子と課題研究発表」、「学びの場となる石窯の制作」と放送部から2本の発表(朗読、テレビドキュメント作品)が紹介されました。特に地域の活性化に向けた「月江寺ルネッサンス」は昨年提案され、今年度は商店街の人たちと共に計画面と運営面に携わり、幅広い教育実践が行われていることに驚かされました。各系列では、工業高校と肩を並べるような大会で好成績をあげ、広い視野に立った取り組みと実践が目を見せました。また、教室には各系列と文化部(華道、書道、美術、写真)の作品が展示され、保護者や中学生も感心しながら見学していました。総合学科高校として地域の中にとけ込み、その中で地域に積極的に飛び出して活動していることが伝わってきました。



第7回アスリート実技講習会 開催



小高い山々の木々がうっすら白い帽子をかぶっている2月13日(土)、大月市勤労青年センターで第7回アスリート実技講習会が行われました。市宮陸上競技場が前週の降雪のため利用できず、屋内での講習会となりましたが、小中学生50名余りの参加がありました。柔軟体操の後、膝の上げ方や腕の振り方を意識したメニューで、より良く走るための基礎練習が行われました。続いて、30mダッシュ・立ち幅跳び・反復横跳び・腹筋・立ち五段跳びの体力テストが行われ、参加者は自己の体力をチェックしていました。最後に6チームに分かれてリレー競技が行われ、生き生きとした笑顔を見せながら熱心に活動していました。子どもたちの体力とパワーが明日に向かう地域の活力の源となることを感じた時間となりました。



南特連第4回学習会 開催



1月28日(木)、ふじざくら支援学校(萩原公子校長)で第4回南特連学習会が行われ、小中学校の特別支援学級に関わる先生方40名余りが参加しました。今回は、「カテゴリー別学習会」が4グループ(日常生活、運動・動作、発達障害、心理検査)に分かれて行われました。それぞれのグループではふじざくら支援学校の地域支援部の先生方から実例を交えながら、特別支援教育に必要な知識の講義、日常の指導の中で子どもたちと接する際のポイントの説明、子どもたち目線でのワークショップ(体験)などを行っていただきました。障がいをもつ子どもたちを育てていくためには、個々の特徴を把握しながらそれに応じた教材を提示し、コミュニケーションの取り方を工夫していくことが必要であるだけでなく、学校全体で支援学級の理解を深め、教育活動を展開していくことが大切であると感じました。

吉田小学校 保幼小連携ミニ講演会 開催



2月10日(水)、吉田小学校(浅沼茂夫校長)において、学区の保育園・幼稚園の先生方と保護者、小学校の先生方と低学年の保護者等が参加して、教育講演会が開催されました。当日は主催者の意図で、参加者が講師の先生を身近に感じられる少人数での開催でした。講演会では、「子どもの心がまがる時・子どもの心がまっすぐにのびる時」と題して、都留文科大学「筒井潤子」先生からお話を伺いました。①心も体も頑張るときと緩めるときが必要であり、頑張り続けるよりは、一度休むとさらに元気が出てくること。②現代の子どもたちは、たくさんの緊張を受ける中で生活しており、知らずのうちに傷ついていることがあり、その変化に気づいてあげることが大切であること。③「共感」は心理的酸素である!」であり、子どもも大人も、共感されることが必要であること。普段の生活の中で気づかない、心を緩める方法をたくさん学ぶことができました。講演終了後には参加者からたくさんの質問や感想が出され、日頃、子育てに追われる中からの課題や子どもたちの指導の中での疑問等が解決し、とても有意義な時間を持つことができました。



ひばりが丘高校 学校説明会、公開授業 開催



10月24日(土)、ひばりが丘高校(森屋政文校長)で学校説明会が行われ、富士吉田市内外から数十名の中学生、保護者、中学校教員が集まりました。校長・教務係・生徒指導係・進路指導係から入学を希望する人間像やカリキュラム、学校生活の過ごし方、卒業後の進路について説明がありました。その中で、現在在学する高校生から生の感想・意見が発表され、参加者たちの進学校選択に役立っているようでした。全体会の後、個別の質問コーナーが設けられ、熱心に相談する姿が見られました。

1月18日(月)、19日(火)には、第3回公開授業が行われ、保護者、学校評議員、教育関係者数十名が訪れました。各授業とも少人数に分けられ、一人一人の学力面、精神面の成長を願いながら、教材が工夫されて進められていました。特に目を引いたのは、生徒の間に入って、コミュニケーションをとりながら日常や時事問題を取り上げたり、毎日使われる日本語の指導を教科指導の中でも行っていたところです。一学期に比べ、生徒一人一人が成長している姿が伺えました。



都留高校 SSH研究発表会及び公開授業 開催



2月10日(水)、都留高校(田中正樹校長)で公開研究授業及びSSH公開研究会が行われました。まず3校時に全授業が公開され、保護者、中学校の先生方、教育関係者が各教室を参観しました。授業の進め方も各教科の特徴があり、1年間のまとめの時期で整然と授業に取り組むクラス、キーワードの問いかけに対して積極的な発言をするクラスなど、違った雰囲気の研究授業を見ることができました。4校時はSSH公開研究会の公開研究授業が5クラスで行われ、SSH運営委員、学校評議員等のSSH関係者の他、地域の中学校関係者、県及び全国の高校関係者など60名余りが参観しました。

SSHクラスの科学英語では外国人研究者によるレクチャーが行われ、生きた英語にふれながら科学的な内容を学習していました。午後からはまず、生徒によるSSHグループ研究のポスターセッション、代表発表会が行われ、数学・物理・化学・生物・地学班の継続的な研究、地域の特色を活かした研究など1年間の研究成果が発表されました。最後にSSH研究発表会が行われ、高校より5年間の研究概要を含めた研究報告がなされました。これまで、科学講座の開講、大学・研究機関との連携事業、地域との連携事業、教育課程の開発などを進めてくる中で、在校生・卒業生の進路選択等に多に役立ち、学校内の活性化にも好影響を与えたことが報告され、将来的にSSHの事業の成果は地域だけでなく、日本の科学振興にもつながっていくものと感じました。



大月短期大学で地域づくりゼミナール 開催



1月27日(水)、大月短期大学(村越洋子学長)で地域づくりゼミナール公開講座「豊かな森で育つ子どもたち～笹子小学校の学校林・緑の少年少女隊の経験」が行われ、林業関係者、教育関係者、一般市民四十数名が参加しました。笹子小校長天野文義さん、林業研究会会長平井文夫さん、笹子小卒業生天野絵梨香さんの3名より、笹子小学校の学校林を活用した教育実践の様子が語られました。現代の小中学生に欠けているといわれる体力、地域文化の知識、自然の理解を身につけるために環境学習として位置づけられ、平成5年から続けられている多くの活動が紹介されました。この中で、協力者として地域の皆さんが献身的に活動してくれたこと、緑の少年少女隊の一員としての体験活動が現在の生き方に役だったことも語られ、ここまでの活動の成果が大きかったことを伝えてくれました。後半は3名を囲んでこの活動に関わった数人の方から、これまでの苦労話や楽しい経験談が語られ、地域づくりにも一役を担ってきたことが感じられました。このような活動を広く地域全体の活動として位置づけ、子どもたちが地域の誇りを持ちながら成長していくような取り組みの必要性を感じました。

「明日の風」(北都留)・「富士の光」(南都留)掲示板

☆ 第8回アスリート実技講習会
期日:3月6日(土) 9:00~
場所:大月市営陸上競技場

―― 掲示板についての問い合わせ先 ―――
富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ
TEL 0554-45-7841 FAX 0554-45-7823